

明日のための現代史

〈上巻〉
1914～1948

「歴史総合」の視点で学ぶ世界大戦

伊勢弘志著 A5判ソフトカバー300頁 本体 2,700円

ISBN978-4-8295-0820-6

日本史と世界史は連環している！
これまでの歴史教育のあり方に一石を投じた
『明日のための近代史』に続く“大人の教養書”



満洲国の民族政策「五族協和」

世界史と日本史の枠を越えた
グローバルな視点で書き下ろした
全く新しい記述スタイルの通史

いよいよ2022年から変わる高校の歴史教育
「日本史」と「世界史」を融合した新科目
「歴史総合」に対応した参考書としても注目の書



軍閥が支配した暗黒時代

- ▼第一次世界大戦はどのように起きたか？
- ▼日本はなぜ参戦したのか？
- ▼「社会主義」は何を目指したのか？
- ▼国際連盟の「民族自決」は誰のための理念か？
- ▼「ワシントン会議」で何が決まったか？
- ▼ドイツはなぜ国際復帰できたのか？
- ▼「戦争違法化」に正義はあったのか？
- ▼「満洲国」は国家なのか？
- ▼日本はなぜ国際連盟から脱退したのか？
- ▼なぜヒトラーは支持されたのか？
- ▼欧州の秩序はいかに崩れていったか？
- ▼なぜ日中戦争には宣戦布告がなかったのか？
- ▼世界大戦と日中戦争はどのように関係したのか？
- ▼イギリスの「宥和政策」はどんな外交なのか？
- ▼なぜ再び大戦は起きたのか？
- ▼日本陸軍はどうして強硬なのか？
- ▼連合国の正義とは何か？
- ▼2発目の原爆は何に必要だったのか？
- ▼終戦の日とはいつか？
- ▼「東京裁判」は誰を裁いていたか？



ピカソがドイツ空軍の無差別爆撃を描いた「ゲルニカ」

伊勢 弘志 (いせ ひろし) 明治大学文学部兼任講師
1977年大分県生まれ。2001年國學院大学文学部史学科卒業。2004年桜美林大学大学院国際関係学部修士修了。2011年明治大学大学院文学研究科博士後期課程修了。博士(史学)。主要著作：『近代日本の陸軍と国民統制 - 山縣有朋の人脈と宇垣一成』(校倉書房、2014年)、『石原莞爾の変節と満洲事変の錯謬』(芙蓉書房出版、2015年)、『はじめての日本現代史』(共著、芙蓉書房出版、2017年)、『明日のための近代史』(芙蓉書房出版、2020年)。

★地図、写真、図版もたくさん収録★

※続刊『明日のための現代史〈下巻〉1948～2020』は2022年3月刊行予定

10月下旬 新刊搬入予定です

配本部数申込締切は 10月4日(月) です

FAX 03-3813-4615

芙蓉書房出版
〒113-0033
東京都文京区本郷3-3-13
http://www.fuyoshobo.co.jp
TEL. 03-3813-4466
FAX. 03-3813-4615

発行	芙蓉書房出版	注文数	注文者
明日のための現代史〈上巻 1914～1948〉	10月新刊 本体 2,700円	部	
【既刊】明日のための近代史	本体 2,000円	部	